

アレルヤの歌声の中で

主任司祭 吉池 好高

4月20日の今年のご復活祭は、この季節にしては寒かったですね。雨もばらつく天候の中、それでも、大勢の皆さんが過越しの3日間の夜の典礼に、そして、復活祭のミサにお集まりくださいました。復活徹夜祭には3歳の心ちゃんと一緒に、5名の志願者の皆さんが洗礼のお恵みをいただいて、みんな神さまの子供になられました。連日の典礼奉仕のために、また、お祝いのパーティーのためにご協力くださった皆さまに厚く御礼申し上げます。

復活祭を迎えた聖堂の祭壇には美しいお花が飾られ、ミサの中ではアレルヤの歌声が高らかに響きました。四旬節を終えて、復活徹夜祭のミサから、今年も新たに響き始めたアレルヤの讃歌は、イエス・キリストの復活を告げ知らせる喜びの歌声です。私たちのキリスト教の教会は、この喜びの歌声の中で誕生したのです。そして、私たちのカトリック信者としての信仰のいのちも、イエス・キリストの復活を告げる、この喜びの歌声の中に誕生したのです。新約聖書の福音書がその終わりに告げているイエス・キリストの復活という出来事がなかったなら、キリスト教の教会は誕生しなかったことでしょう。十字架の上に地上の生涯を終え、墓に葬られたイエス・キリストは、痛恨の失意の中に取り残された弟子たちのもとに、約束しておられたとおりに、戻って来てくださったのです。「シャローム」。これが、十字架の上にご自分を見捨てた弟子たちのところに戻って来られたイエス・キリストの呼びかけです。「シャローム・おはよう・あなた方に平和」と十字架の傷をその身に負ったままのイエスは何事もなかったかのように、呼びかけてくださるのです。「シャローム・おはよう」イエスのこのような呼びかけを受けて、イエスの墓を訪れた婦人たちは、それまでの悪夢の夜が明けた新しいいのちの朝を迎えたのです。「シャローム・あなた方に平和」この呼びかけを受けて、弟子たちは、閉じ籠らざるを得なかった部屋が開け放たれたことを経験したのです。復活節のミサの中に響くアレルヤの歌声は、このような経験をした人々によって歌い継がれてきた、歓喜の讃歌なのです。